

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

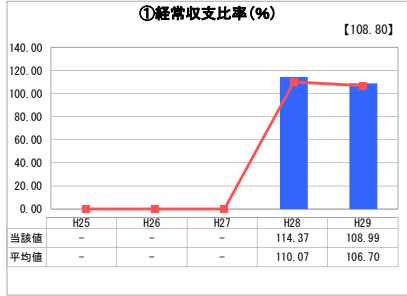
兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	58.90	31.48	100.00	4,860

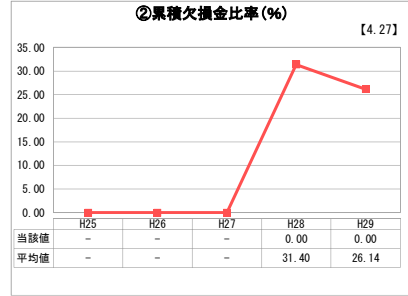
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,866	241.01	61.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,648	1.90	2,446.32

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

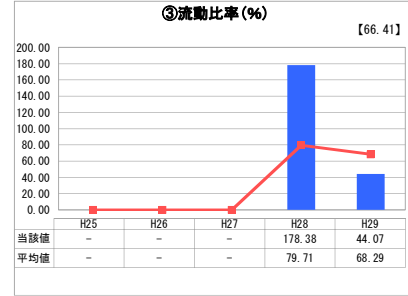
## 1. 経営の健全性・効率性



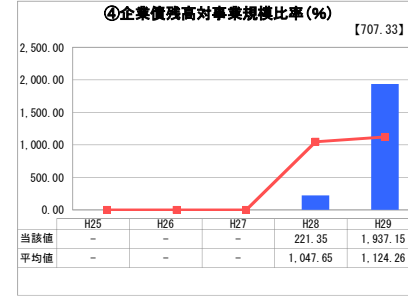
「経常損益」



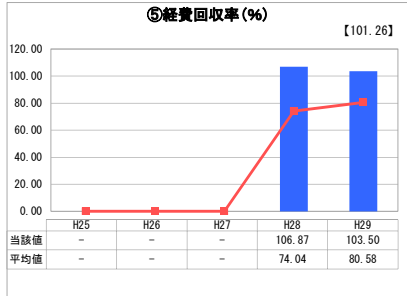
「累積欠損」



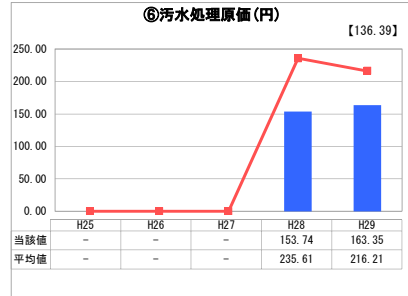
「支払能力」



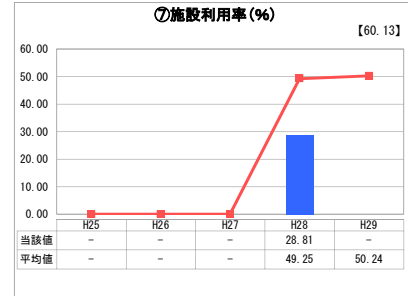
「債務残高」



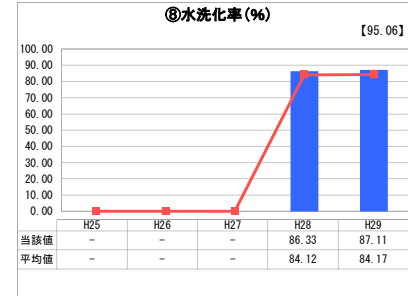
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

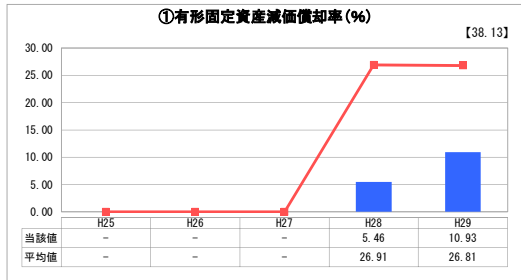


「施設の効率性」

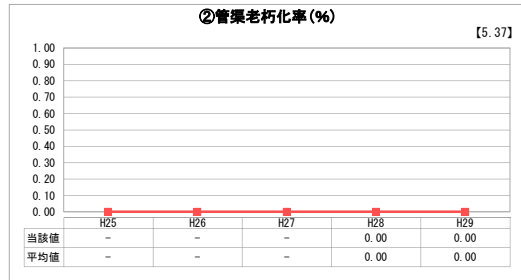


「使用料対象の捕捉」

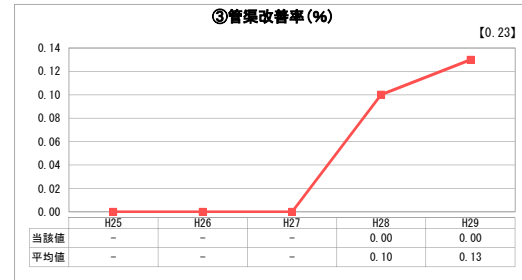
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

H28年度から企業会計へ移行したことにより、前年度数値表示が出来なくなり、また初年度のみ経費があるため、単年度及び類似団体平均値比較の分析のみとなります。

①経常収支比率及び⑧水洗化率は類似団体平均値とほぼ同数値であります。

③流動比率は、H29年度より翌年度の企業債償還元金を固定負債へ移行したことによる減となっております。④企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値より高いが、28年度決算数値は比率の計算方法の違いにより比較は出来ませんが、ピークは過ぎ下降傾向にあります。⑤経費回収率は類似団体平均値より高く、当該値が100%以上であることは事業経営的に良好な状況であります。

⑥汚水処理原価が類似団体平均値より低いが、汚水処理費が抑えられている現状にあるためと考えられます。⑦施設利用率の当該値は28.34であり類似団体平均値より低いです。接続率が79.5%の状況であり、近年の水の使用量の低下及び少子高齢化による利用者の減少等が考えられます。

経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減、接続率向上に向けた検討、施設の統廃合の検討等を進めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率が類似団体平均値より低いのは、固定資産が比較的新しく、類似団体平均値より法定耐用年数にまだ残りが資産が多いことを示しています。

施設供用開始から18年を経過し、経年劣化による修繕等がでてきています。

機械設備等については、H28年度から公共下水道長寿命化計画により、整備を進めており、H30年度で事業終了となります。以後はストックマネジメント計画により、H32年度より計画に沿った事業展開となります。

### 全体総括

H28年度から整備している、公共下水道長寿命化計画がH30年度で事業終了となり、以後はストックマネジメント計画により、H32年度より計画に沿った事業展開となります。企業債の残高の増加となるが、一層の経営の健全性・効率性を目指していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。